

1 次の□には、設問ごとに同じ漢字で読みの異なるものが入ります。  
その漢字を書きましよう。

(一) 作者の □ しんじょう  
情を読み取る。

社会人としての □ こころえ  
得を学ぶ。

(二) 気温が急に □ じょうしょう  
昇した。

寒いので □ うわぎ  
着を着る。

(三) 会社が □ じうごう  
同で事業を行う。

笛がスタートの □ あいず  
図になった。

(四) 授業に必ず □ しゅっせき  
席する。

非常 □ でぐち  
□の位置を確認する。

(五) 彼は高い能 □ のうりよく  
を持っている。

□ ちからわざ  
技で問題を解こうとした。

(六) 物事の □ ちようたん  
短を比べる。

梅雨の □ ながあめ  
雨が続けている。

(七) 危険だと □ ちよっかん  
感じた。

鍋を □ じかび  
火にかける。

(八) それは □ せつじつ  
実な願いだ。

手紙に □ きって  
手をはる。

1 次の□には、設問ごとに同じ漢字で読みの異なるものが入ります。  
その漢字を書きましよう。

しんじょう

(一) 作者の **心** 情を読み取る。

こころえ

社会人としての **心** 得を学ぶ。

じょうしょう

(二) 気温が急に **上** 昇した。

うわぎ

寒いので **上** 着を着る。

いっしょどう

(三) 会社が **合** 同で事業を行う。

あいず

笛がスタートの **合** 図になった。

しゅっせき

(四) 授業に必ず **出** 席する。

でぐち

非常 **出** 口の位置を確認する。

のうりよく

(五) 彼は高い能 **力** を持っている。

ちからわざ

技で問題を解こうとした。

ちようたん

(六) 物事の **長** 短を比べる。

ながあめ

梅雨の **長** 雨が続けている。

ちよっかん

(七) 危険だと **直** 感した。

じかび

鍋を **直** 火にかける。

せつじつ

(八) それは **切** 実な願いだ。

きって

手紙に **切** 手をはる。